

# ダイワ米国国債ファンド ーラダー10ー (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

## 運用報告書(全体版) 第13期

(決算日 2020年3月10日)

(作成対象期間 2019年9月11日~2020年3月10日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、残存期間の異なる米国国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当完成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5611>  
<5612>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券		
信託期間	約9年11カ月間(2013年9月27日~2023年9月8日)		
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国トレジャリー・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド	米国国債	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等の中から分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

為替ヘッジあり

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE 米国債インデックス (米ドルベース)		公社債 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
9期末(2018年3月12日)	9,057	60	△ 4.1	10,635	△ 3.3	99.0	—	6,828
10期末(2018年9月10日)	8,915	80	△ 0.7	10,734	0.9	97.8	—	6,380
11期末(2019年3月11日)	8,927	80	1.0	11,038	2.8	95.9	—	6,014
12期末(2019年9月10日)	9,138	100	3.5	11,823	7.1	98.2	—	6,184
13期末(2020年3月10日)	9,435	90	4.2	12,809	8.3	94.1	—	5,540

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE 米国債インデックス (米ドルベース) は、FTSE 米国債インデックス (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE 米国債インデックス (米ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

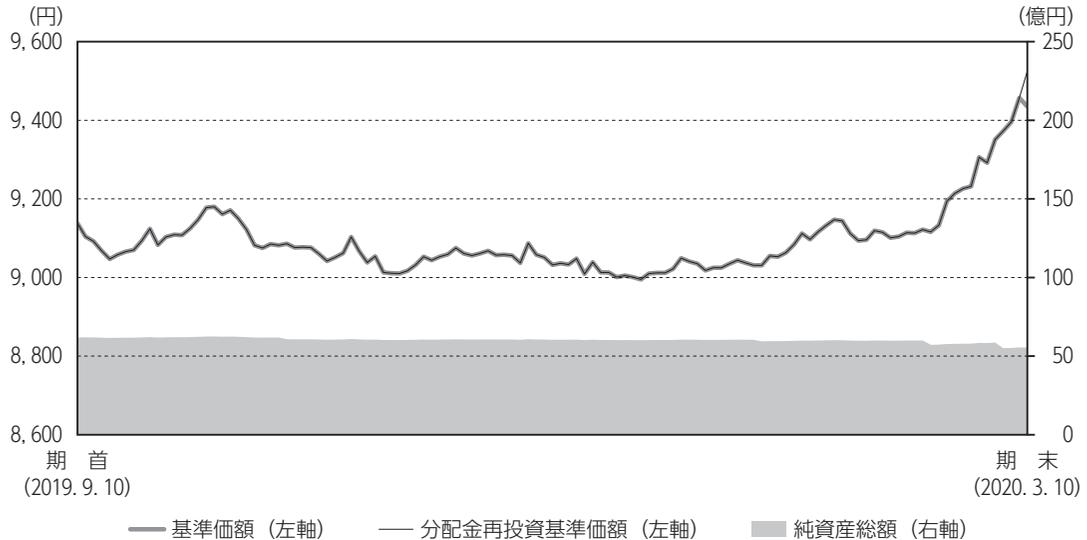
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：9,138円

期末：9,435円 (分配金90円)

騰落率：4.2% (分配金込み)

#### 基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、金利が低下 (債券価格は上昇) したことや債券からの利息収入により、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国国債ファンド -ラダー10- (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		FTSE 米国債インデックス (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2019年 9月10日	円	%		%	%	%
	9,138	—	11,823	—	98.2	—
9月末	9,109	△ 0.3	11,796	△ 0.2	98.5	—
10月末	9,062	△ 0.8	11,728	△ 0.8	97.0	—
11月末	9,058	△ 0.9	11,774	△ 0.4	97.5	—
12月末	9,022	△ 1.3	11,729	△ 0.8	97.5	—
2020年 1月末	9,132	△ 0.1	11,968	1.2	95.8	—
2月末	9,232	1.0	12,183	3.0	96.9	—
(期末) 2020年 3月10日	9,525	4.2	12,809	8.3	94.1	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2019. 9. 11 ~ 2020. 3. 10)

### ■ 米国債券市況

米国金利は低下しました。

当作成期首から2019年12月は、米中通商協議の進展期待が高まり、実際に10月に対中関税率の引き上げ延期が決定されたことや英国のEU（欧州連合）離脱への懸念が改善したことなどを背景に、金利はやや上昇傾向となりました。しかし2020年1月以降は、中国発の新型コロナウイルスの感染拡大による世界の経済活動への懸念が強まり、2月後半から金融市場がリスク回避的となったことを受け、当作成期末にかけて金利は急速に低下しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れます。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米回国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米回国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## ポートフォリオについて

(2019. 9. 11 ~ 2020. 3. 10)

### 当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れました。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

### ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

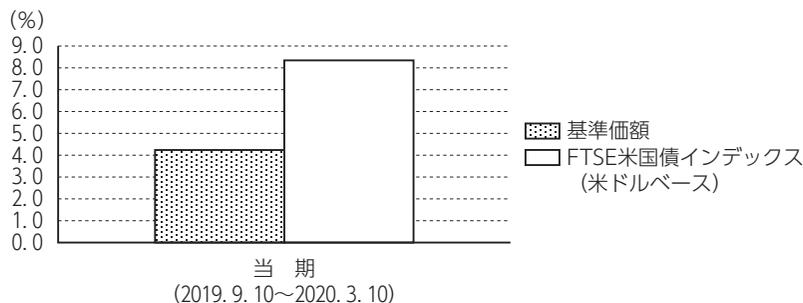
米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	当 期	
	2019年9月11日 ～2020年3月10日	
<b>当期分配金(税込み)</b>	<b>(円)</b>	<b>90</b>
対基準価額比率	(%)	0.94
当期の収益	(円)	84
当期の収益以外	(円)	6
翌期繰越分配対象額	(円)	108

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	96.10円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		96.12
(d) 分配準備積立金	✓	6.39
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)		198.62
(f) 分配金		90.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)		108.62

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れます。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 9. 11～2020. 3. 10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0. 240%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 093円です。
(投 信 会 社)	(10)	(0. 109)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(10)	(0. 109)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 022)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 009	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0. 005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	23	0. 249	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

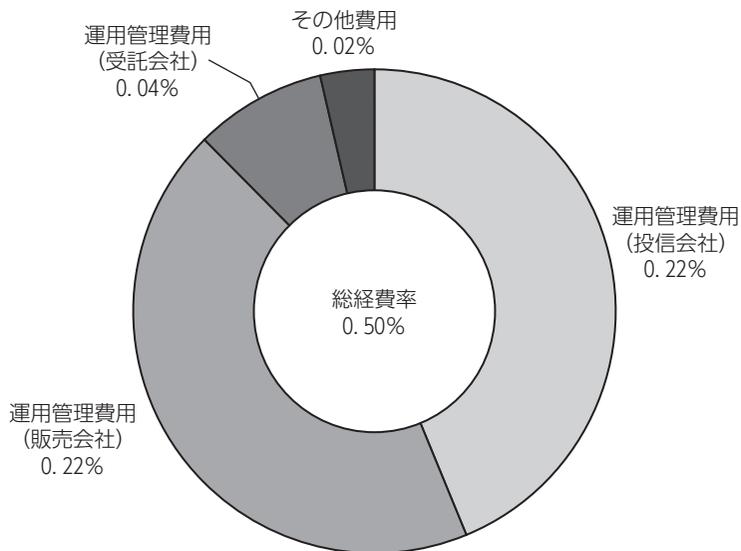
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.50%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年9月11日から2020年3月10日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国 トレジャリー・ マザーファンド	—	—	776,838	1,021,000

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド	4,816,798	4,039,960	5,264,472

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド	5,264,472	93.7
コール・ローン等、その他	352,024	6.3
投資信託財産総額	5,616,496	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=103.28円です。

(注3) ダイワ米国トレジャリー・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(7,631,634千円)の投資信託財産総額(7,633,621千円)に対する比率は、100.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	10,845,039,414円
コール・ローン等	107,758,179
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド(評価額)	5,264,472,290
未収入金	5,472,808,945
(B) 負債	5,304,312,823
未払金	5,236,722,994
未払収益分配金	52,851,450
未払信託報酬	14,490,962
その他未払費用	247,417
(C) 純資産総額(A-B)	5,540,726,591
元本	5,872,383,380
次期繰越損益金	△ 331,656,789
(D) 受益権総口数	5,872,383,380口
1万口当り基準価額(C/D)	9,435円

\* 期首における元本額は6,768,013,423円、当作成期間中における追加設定元本額は37,917,501円、同解約元本額は933,547,544円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,435円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は331,656,789円です。

■損益の状況

当期 自 2019年9月11日 至 2020年3月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 28,073円
受取利息	4,939
支払利息	△ 33,012
(B) 有価証券売買損益	242,119,006
売買益	389,234,022
売買損	△ 147,115,016
(C) 信託報酬等	△ 14,739,633
(D) 当期損益金(A+B+C)	227,351,300
(E) 前期繰越損益金	△ 256,590,777
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ ( 56,447,739)
(売買損益相当額)	(△ 306,013,601)
(G) 合計(D+E+F)	△ 278,805,339
(H) 収益分配金	△ 52,851,450
次期繰越損益金(G+H)	△ 331,656,789
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ ( 56,447,739)
(売買損益相当額)	(△ 306,013,601)
分配準備積立金	7,339,892
繰越損益金	△ 89,430,819

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	56,438,437円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	56,447,739
(d) 分配準備積立金	3,752,905
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	116,639,081
(f) 分配金	52,851,450
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	63,787,631
(h) 受益権総口数	5,872,383,380口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	90円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE 米国債インデックス (円換算)		公社債 組入比率	債券 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
9期末(2018年3月12日)	10,176	90	△ 4.7	11,493	△ 4.6	98.1	—	4,046
10期末(2018年9月10日)	10,486	120	4.2	12,033	4.7	97.7	—	3,766
11期末(2019年3月11日)	10,652	110	2.6	12,376	2.9	97.7	—	3,735
12期末(2019年9月10日)	10,735	110	1.8	12,837	3.7	97.7	—	3,335
13期末(2020年3月10日)	10,801	110	1.6	13,368	4.1	97.9	—	2,398

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE 米国債インデックス (円換算) は、FTSE 米国債インデックス (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE 米国債インデックス (米ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

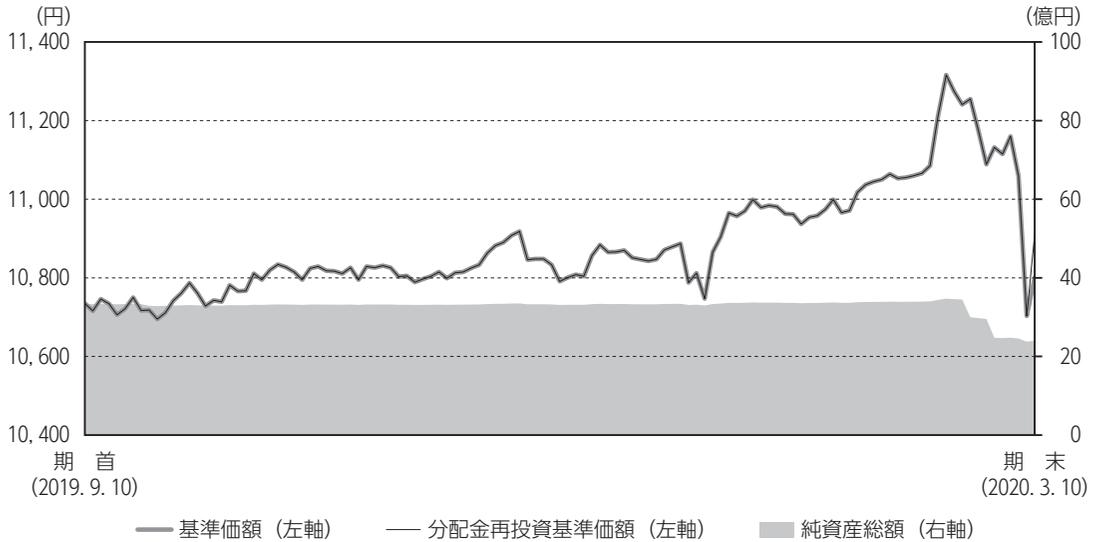
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：10,735円

期末：10,801円（分配金110円）

騰落率：1.6%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、金利が低下（債券価格は上昇）したことや債券からの利息収入により、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国国債ファンド -ラダー10- (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		FTSE 米国債インデックス (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2019年 9月10日	10,735	—	12,837	—	97.7	—
9月末	10,761	0.2	12,864	0.2	98.0	—
10月末	10,826	0.8	12,903	0.5	97.5	—
11月末	10,908	1.6	13,035	1.5	97.2	—
12月末	10,887	1.4	12,986	1.2	97.0	—
2020年 1月末	10,999	2.5	13,189	2.7	97.6	—
2月末	11,175	4.1	13,472	4.9	98.1	—
(期末) 2020年 3月10日	10,911	1.6	13,368	4.1	97.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2019. 9. 11 ~ 2020. 3. 10)

### ■ 米国債券市況

米国金利は低下しました。

当作成期首から2019年12月は、米中通商協議の進展期待が高まり、実際に10月に対中関税率の引き上げ延期が決定されたことや、英国のEU（欧州連合）離脱への懸念が改善したことなどを背景に、金利はやや上昇傾向となりました。しかし2020年1月以降は、中国発の新型コロナウイルスの感染拡大による世界の経済活動への懸念が強まり、2月後半から金融市場がリスク回避的となったことを受けて、当作成期末にかけて金利は急速に低下しました。

### ■ 為替相場

為替市場では、円高米ドル安が進行しました。

当作成期首より、米中通商協議の進展期待が高まり実際に2019年10月に対中関税率の引き上げ延期が決定されたことや、英国のEU（欧州連合）離脱への懸念が改善したことなどを背景に、円安ドル高が進行しました。しかし2020年1月以降は、中国発の新型コロナウイルスの感染拡大による世界の経済活動への懸念が強まり、2月後半から金融市場がリスク回避的となったことを受けて、当作成期末にかけて急激な円高が進みました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れます。

### ■ ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## ポートフォリオについて

(2019. 9. 11 ~ 2020. 3. 10)

### ■当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れました。

### ■ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

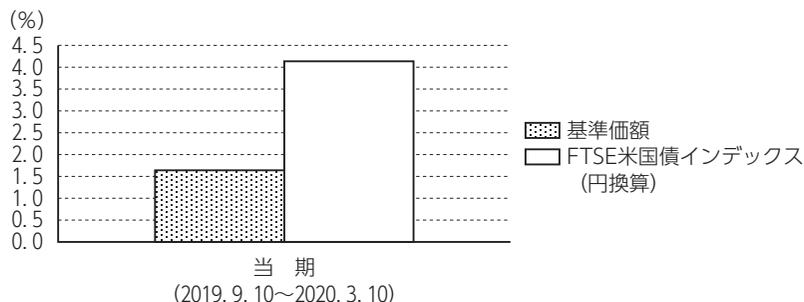
米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	当 期	
	2019年9月11日 ～2020年3月10日	
<b>当期分配金(税込み)</b>	<b>(円)</b>	<b>110</b>
対基準価額比率	(%)	1.01
当期の収益	(円)	100
当期の収益以外	(円)	10
翌期繰越分配対象額	(円)	1,801

### ■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 103.59円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	1,398.82
(d) 分配準備積立金	✓ 409.22
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	1,911.64
(f) 分配金	110.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	1,801.64

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。  
 (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。  
 (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド」を高位に組み入れます。

### ■ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 9. 11~2020. 3. 10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	26円	0.240%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,886円です。
(投 信 会 社)	(12)	(0.109)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0.109)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.022)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.009	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	27	0.249	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

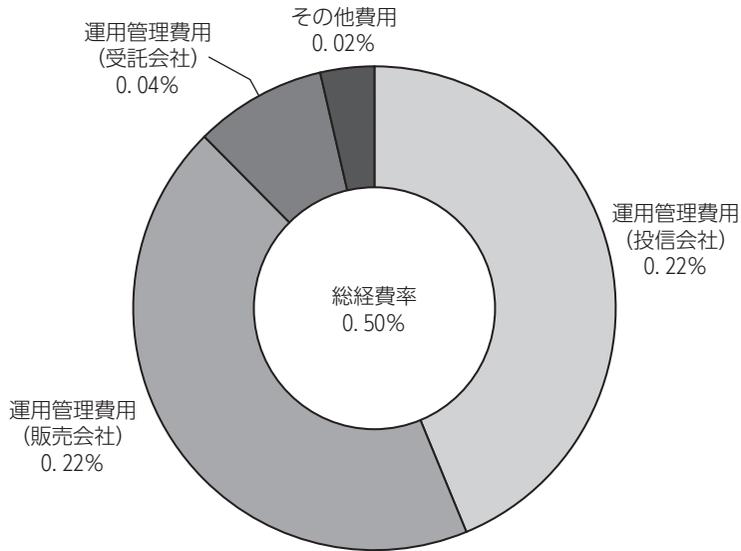
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.50%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年9月11日から2020年3月10日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国 トレジャリー・ マザーファンド	—	—	767,597	1,021,700

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド	2,585,616	1,818,019	2,369,061	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド	2,369,061	97.5
コール・ローン等、その他	61,808	2.5
投資信託財産総額	2,430,869	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=103.28円です。

(注3) ダイワ米国トレジャリー・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(7,631,634千円)の投資信託財産総額(7,633,621千円)に対する比率は、100.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,430,869,139円
コール・ローン等	61,808,118
ダイワ米国トレジャリー・ マザーファンド (評価額)	2,369,061,021
(B) 負債	32,475,743
未払収益分配金	24,426,458
未払信託報酬	7,914,211
その他未払費用	135,074
(C) 純資産総額 (A - B)	2,398,393,396
元本	2,220,587,091
次期繰越損益金	177,806,305
(D) 受益権総口数	2,220,587,091口
1万口当り基準価額 (C / D)	10,801円

\* 期首における元本額は3,107,248,999円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は886,661,908円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,801円です。

■損益の状況

当期 自 2019年9月11日 至 2020年3月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 5,084円
受取利息	2,022
支払利息	△ 7,106
(B) 有価証券売買損益	47,159,129
売買益	80,951,262
売買損	△ 33,792,133
(C) 信託報酬等	△ 8,049,455
(D) 当期損益金 (A + B + C)	39,104,590
(E) 前期繰越損益金	△ 147,492,643
(F) 追加信託差損益金	310,620,816
(配当等相当額)	( 281,850,433)
(売買損益相当額)	( 28,770,383)
(G) 合計 (D + E + F)	202,232,763
(H) 収益分配金	△ 24,426,458
次期繰越損益金 (G + H)	177,806,305
追加信託差損益金	310,620,816
(配当等相当額)	( 281,850,433)
(売買損益相当額)	( 28,770,383)
分配準備積立金	89,449,235
繰越損益金	△ 222,263,746

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	23,003,142円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	310,620,816
(d) 分配準備積立金	90,872,551
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	424,496,509
(f) 分配金	24,426,458
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	400,070,051
(h) 受益権総口数	2,220,587.091口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	110円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

# ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド 運用報告書 第7期 (決算日 2020年3月10日)

(作成対象期間 2019年3月12日～2020年3月10日)

ダイワ米国トレジャリー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	米国国債
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

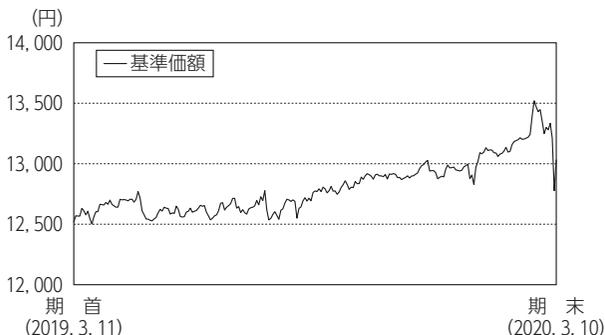
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移

《運用経過》



年 月 日	基準 価 額		FTSE 米国債 インデックス (円換算)		公 社 債	債 券
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	組入比率 %	先物比率 %
(期首) 2019年 3月11日	12,519	—	12,376	—	98.5	—
3月末	12,665	1.2	12,565	1.5	98.4	—
4月末	12,715	1.6	12,586	1.7	98.2	—
5月末	12,623	0.8	12,552	1.4	98.2	—
6月末	12,611	0.7	12,547	1.4	98.4	—
7月末	12,695	1.4	12,616	1.9	98.2	—
8月末	12,719	1.6	12,792	3.4	98.6	—
9月末	12,827	2.5	12,864	3.9	98.9	—
10月末	12,911	3.1	12,903	4.3	98.2	—
11月末	13,014	4.0	13,035	5.3	97.9	—
12月末	12,995	3.8	12,986	4.9	97.7	—
2020年 1月末	13,135	4.9	13,189	6.6	98.2	—
2月末	13,351	6.6	13,472	8.9	98.7	—
(期末) 2020年 3月10日	13,031	4.1	13,368	8.0	99.1	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) FTSE 米国債インデックス (円換算) は、FTSE 米国債インデックス (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE 米国債インデックス (米ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
- (注6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,519円 期末：13,031円 騰落率：4.1%

【基準価額の主な変動要因】

米国国債に投資した結果、金利が低下 (債券価格は上昇) したことや債券からの利息収入により、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国債券市況

米国金利は低下しました。

2018年末から2019年初にかけて、株価が急落するなどリスク回避的な動きが強まり、F R B (米国連邦準備制度理事会) の金融引き締め姿勢が後退しました。E C B (欧州中央銀行) や多くの新興国も次々と金融緩和政策へ転換し、世界的に金利が低下しました。2019年7月に、F R Bは10年ぶりとなる利下げを行いました。米国トランプ政権は米中通商協議を巡って対中批判を繰り返し、5月と8月にそれぞれ対中関税率の引き上げを発表しました。こうした米中貿易摩擦の激化が幾度となく懸念されたことも、金利低下要因となりました。9月以降は、米中通商協議の進展期待が高まり、実際に10月に対中関税率の引き上げ延期が決定されたことや英国のE U (欧州連合) 離脱への懸念が改善したことなどを背景に、金利はやや上昇傾向となりました。2020年1月以降は、中国発の新型コロナウイルスの感染拡大による世界の経済活動への懸念が強まり、2月後半から金融市場がリスク回避的となったことを受けて、当作成期末にかけて金利は急速に低下しました。

○為替相場

米ドルは対円而下落 (円高) しました。

米ドルの対円為替相場は、2019年5月に米国トランプ政権が突如対中関税率の引き上げを発表したことを受けて、市場のリスク回避姿勢が強まり、円高米ドル安に進行しました。トランプ政権は8月にも対中関税率を引き上げました。また、F R B (米国連邦準備制度理事会) 高官が利下げに前向きな姿勢を示し市場の利下げ期待が高まったことも、ドル安要因となりました。9月以降は、米中通商協議の進展期待が高まり実際に10月に対中関税率の引き上げ延期が決定されたことや、英国のE U (欧州連合) 離脱への懸念が改善したことなどを背景に、円安ドル高が進行しました。2020年1月以降は、中国発の新型コロナウイルスの感染拡大による世界的経済活動への懸念が強まり、2月後半から金融市場がリスク回避的となったことを受けて、当作成期末にかけて急激な円高が進みました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

◆ポートフォリオについて

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

## ダイワ米国トレジャリー・マザーファンド

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

### 《今後の運用方針》

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長10年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

### ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 ( 1)
(その他)	( 0)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

### ■売買および取引の状況

#### 公 社 債

(2019年3月12日から2020年3月10日まで)

			買 付 額	売 付 額
			千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
外 国	アメリカ	国債証券	36,846	47,363 ( 8,342)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 公 社 債

(2019年3月12日から2020年3月10日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄		銘 柄	
千円		千円	
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.625% 2029/2/15	377,576	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.625% 2029/2/15	424,914
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.5% 2030/2/15	375,734	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2025/2/15	416,351
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.5% 2022/8/15	344,768	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2023/2/15	413,941
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.375% 2024/8/15	328,218	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2025/8/15	381,105
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.375% 2029/5/15	301,992	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 3.625% 2021/2/15	369,055
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.875% 2028/8/15	298,817	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.5% 2023/8/15	333,678
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.75% 2028/8/15	288,575	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.25% 2027/2/15	297,068
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.625% 2020/8/15	267,848	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.125% 2021/8/15	270,717
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2022/2/15	260,637	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.25% 2027/8/15	163,537
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2026/2/15	232,517	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.375% 2027/5/15	134,669

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	千アメリカ・ドル 67,598	千アメリカ・ドル 73,217	千円 7,561,953	% 99.1	% —	% 50.2	% 29.4	% 19.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.5000	1,524	1,532	158,228	2020/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.6250	2,704	2,730	282,050	2020/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.6250	2,086	2,117	218,740	2020/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.6250	754	777	80,270	2021/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.1250	1,278	1,319	136,255	2021/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.1250	1,007	1,031	106,578	2021/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	1,823	1,872	193,396	2021/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	2,892	2,981	307,879	2022/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	1,507	1,550	160,178	2022/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	1,927	1,988	205,387	2022/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	632	661	68,296	2023/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	2,084	2,172	224,383	2023/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.5000	431	461	47,667	2023/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	1,332	1,444	149,197	2023/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	2,913	3,176	328,069	2024/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.5000	1,864	2,023	208,937	2024/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.3750	2,385	2,586	267,161	2024/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	2,009	2,175	224,702	2024/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	457	491	50,720	2025/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.1250	1,832	1,985	205,068	2025/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	639	690	71,352	2025/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	1,498	1,642	169,652	2025/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	2,823	3,009	310,781	2026/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	1,439	1,536	158,662	2026/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	2,636	2,799	289,174	2026/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	2,150	2,357	243,511	2026/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	605	677	69,972	2027/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.3750	1,252	1,417	146,418	2027/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	1,580	1,780	183,885	2027/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	1,975	2,232	230,574	2027/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	1,690	1,981	204,651	2028/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.8750	1,880	2,234	230,753	2028/05/15
United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.8750	2,760	3,295	340,347	2028/08/15	
United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.1250	1,360	1,661	171,647	2028/11/15	

# ダイワ米国トレジャー・マザーファンド

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千アメリカ・ドル	千円	
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.6250	215	254	26,247	2029/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.3750	2,275	2,649	273,620	2029/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	70	77	7,962	2029/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	2,950	3,027	312,731	2022/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	1,380	1,540	159,127	2029/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	2,980	3,269	337,708	2030/02/15
合 計	銘柄数 金 額	40銘柄		67,598	73,217	7,561,953	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2020年3月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	7,561,953	99.1
コール・ローン等、その他	71,668	0.9
投資信託財産総額	7,633,621	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝103.28円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(7,631,634千円)の投資信託財産総額(7,633,621千円)に対する比率は、100.0%です。

## ■損益の状況

当期 自 2019年3月12日 至 2020年3月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	205,243,649円
受取利息	205,269,633
支払利息	△ 25,984
(B) 有価証券売買損益	205,637,044
売買益	749,786,154
売買損	△ 544,149,110
(C) その他費用	△ 881,011
(D) 当期損益金 (A + B + C)	409,999,682
(E) 前期繰越損益金	1,922,586,633
(F) 解約差損益金	△ 595,490,625
(G) 追加信託差損益金	38,546,548
(H) 合計 (D + E + F + G)	1,775,642,238
次期繰越損益金 (H)	1,775,642,238

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,633,621,911円
コール・ローン等	40,712,393
公社債 (評価額)	7,561,953,183
未収利息	30,295,676
前払費用	660,659
(B) 負債	—
(C) 純資産総額 (A - B)	7,633,621,911
元本	5,857,979,673
次期繰越損益金	1,775,642,238
(D) 受益権総口数	5,857,979,673口
1万口当り基準価額 (C / D)	13,031円

\* 期首における元本額は7,633,535,596円、当作成期間中における追加設定元本額は146,453,452円、同解約元本額は1,922,009,375円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国国債ファンドーラダー10ー (為替ヘッジあり) 4,039,960,318円、ダイワ米国国債ファンドーラダー10ー (為替ヘッジなし) 1,818,019,355円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,031円です。